

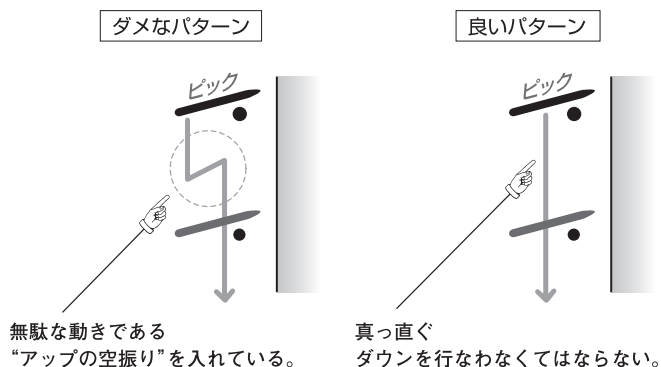
注意点1



無駄な空振りは絶対NG! エコノミーの流れを確認せよ

エコノミー・ピッキングの最大の特徴は、1回のピッキング動作で複数弦を弾くことだ。そのため、TAB譜にダウンが2回続くように表記されていても、1回目のダウン後にピックを振り上げてはならない(図1)。この振り上げ動作が入ることにより、自然にオルタネイトの空振り(アップ)を行なうことになるので、無駄な動きが生じるのだ。そのため1音目のダウン後は、ピックをそのまま隣の弦に当てて、次のピッキングの待機をしよう。“①ダウン、②次の弦にピックを当てて待機、③再びダウン”という流れを一連の動作として、右手に確実に覚え込ませるまで、何度もくり返し練習すべし!

図1 エコノミー・ピッキングの軌道図



注意点2



アップから弾き始めて プレイの安定度を高めよう

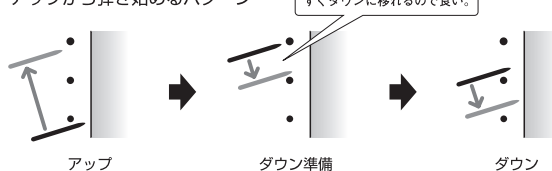
このメイン・フレーズは、各小節をアップから弾き始めることがポイントになる。このように弾くことで、1&2弦の上昇移動をすべてダウン・エコノミーで弾くことができるのだ。また、同時にピッキング軌道の無駄を減らせるだろう(図2)。実はこのメイン・フレーズは、ダウンから弾き始めるオルタネイトでも演奏することができるが、弦移動時にアウトサイド・ピッキングが登場するので、このような速いテンポではかなり大変だ。全体を通してプリングはすべてアップで弾くということを覚えておくと、さらにリズムが取りやすくなるだろう。

図2 アップから弾き始めるエコノミー

× ダウンから弾き始めるパターン



○ アップから弾き始めるパターン



注意点3



2つのポジションが融合した 発展トライアド・フレーズ

このメイン・フレーズでは、1つのコードに対して2つのトライアド・ポジションを使用している(図3)。各小節とも1&2拍目と3&4拍目でポジションが変化しているが、2弦の音は1&2拍目では5th音、3&4拍目ではルート音になっているのだ。このようなトライアド・ポジションは、漠然と頭に入れようとするのではなく、各コード音がどの位置にあるのかということを理解しながら覚えると良いだろう。そうすることで、よりコード感のある演奏ができ、さらにオリジナル・フレーズを作る時などに役立つのだ。実際に演奏しながら【註】2つのポジションを頭と指に叩き込んでいこう!

図3 2つのトライアド・ポジション

◎ トニック △ 3rd音 □ 5th音

・マイナー・トライアド(メイン・フレーズ1&4小節目)

ポジション①			ポジション②		
◎	△	□	◎	△	□

・メジャー・トライアド(メイン・フレーズ2&3小節目)

ポジション①			ポジション②		
◎	△	□	◎	△	□

【実際に演奏しながら】ポジション図は眺めているだけでは、やはり頭に入りづらい。ギターを持って実際に演奏しながら、頭と指の両方にポジションを叩き込んでいくことが大切だ。脳ではない、身体で覚えよ!